



## としょかんだより

しもつけしりつこくぶんじしやうがっこう  
下野市立国分寺小学校 夏休み号

もうすぐ夏休み。夏休みにはどんな本が読みたいですか。夏休みの計画に、ぜひ読書を加えてください。朝の涼しいうちに読書をする時間を入れ、落ち着いた気分で1日をスタートさせましょう。夏休みだからこそ、いつもは読めないような長いお話にもチャレンジしてください。読書は、みなさんの知識も心も豊かにしてくれます。さあ、読書の冒険に出かけましょう。

夏休み、良い本に出会ったら、読書感想文を書いてみませんか。読んだ本を、より感動的にするのも効果的です。ぜひチャレンジしてください。

感想文で一番大事なことは、自分の心が動かされたことを、素直に表現していくこと。気負わず、自分なりの言葉で表現してください。次に表現の仕方のポイントを紹介합니다。ぜひ、参考にしてください。



### ① よい本をえらぼう

思いっきり楽しめたり、自分を見つめなおしたり、新しいことを教えられたり…。心をつき動かしてくれる本が「よい本」といえるでしょう。楽しい本、考えさせられる本、新しいことを教えてくれる本…。たくさんの本を読むと、そういう本に出会えます。

### ② いっしょうけんめい読もう

どこに感動したか、なぜ感動したのかを考えて、一度だけでなく、もう一度読んでみよう。

### ③ いよいよ 感想文！

(ア) 文の組み立てを考えよう

はじめ - なか - おわりを意識して組み立て表をつくってみよう。

(イ) 書き出しを工夫しよう

- |                |                 |             |
|----------------|-----------------|-------------|
| (例) ・本を読んだ感動から | ・本を読むきっかけを はじめに | ・疑問に思ったことから |
| ・同じような経験から     | ・一番心に残った文を使って   | ・よびかけから     |

(ウ) 自分が書きたいことをはっきりさせよう

素直に自分の言葉で表現してみよう。

何にどう感動したのかを、登場人物の心情を中心にみつめてみよう。

事実と筆者の意見とをきちんと区別して書くようにしましょう。

自分の経験したことや日頃考えていることと比べて書いてもいいですね。

(エ) 題名の付け方を工夫しよう

自分が一番感動したことなど、中心となる言葉を 考えて題名にしよう。

(オ) 結びを工夫しよう

感動が自分にどう影響したのか。本を読んだことがきっかけとなって、自分の考えや思いがどう変わったのかなども書けるといいでしょう。



コンクール名	第70回 青少年読書感想文全国コンクール
対象図書	<p>(1) 自由読書 ・自由に選んだ図書</p> <p>(2) 課題読書                  ㊦・アザラシのアニュー                  ・ごめんねでてこい                  ・おちびさんじゃないよ                  ・どうやってできるの？チョコレート                  ㊧・いつかの約束1945                  ・じゅげむの夏                  ・さようなら プラスチック・ストロー                  ・聞いて 聞いて！ :音と耳のはなし                  ㊨・ぼくはうそをついた                  ・ドアのむこうの国へのパスポート                  ・図書館がくれた宝物                  ・海よ光れ！ :3・11被災者を励ました学校新聞</p>
本文 字数・ 書く際の注意	<p>㊦ 800字以内                  ㊧ 1200字以内                  ㊨ 1200字以内</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・原稿用紙の種類は自由です。(縦書き)</li> <li>・本文は、原稿用紙の1行目から書きます。</li> <li>・原稿用紙の余白にも、題名や名前等を記入しないでください。</li> <li>・原稿用紙は、一枚ずつ二つ折りにして、右上端をホチキスで留めてください。</li> <li>・応募票は、記入もれが無いように記入し、1番上にクリップで留めてください。</li> <li>・文字は丁寧に正確に書き、習った漢字を使って書くようにしましょう。</li> <li>・かぎカッコや、句読点、行末になった場合の句点(。)の処理等、マスの文字や記号を書く際の注意点に気をつけましょう。</li> <li>・<b>はじめ</b>—<b>なか</b>—<b>おわり</b>の大まかな3つの組み立てだけでなく、段落のまとまりに気を付けて、構成を考えて書くようにしましょう。</li> <li>・制限文字数内で、できるだけたくさん書くようにしましょう。</li> <li>・あらすじのぬき書きに文字数を費やしすぎずに、登場人物の心情や自分の思いについて、詳しく書くようにしましょう。</li> <li>・読書によって自分の思い・考えがどう変わったかを、自分の言葉で書くようにしましょう。</li> </ul>



## 夏休み期間中 「家読」に 取り組みましょう！！

先日の学力向上だよりでも、お知らせしましたように、7月20日(土)～9月1日(日)の期間中、「家族みんなで読書をする事で家族のコミュニケーションを深める」ことを目的とした読書運動＝「家読」を推進しています

時間に余裕のある夏休みだからこそ、お子さんの発達段階に応じた本を共に読み合い、読書を通して、家族間のコミュニケーションを深められればと思います。

2024年、夏休み。今年はどんな本が思い出の本となるでしょうか。